

追手門学院大学

校友会会報



第63号
平成19年(2007年)9月15日
発行者 〒567-8502
茨木市西安威 2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 平野 昌雄
電話 072-643-6135
FAX 072-643-6099
編集責任 蟻柴 潤一
©2007

現役学生にも支援

校友会会长 平野 昌雄

昌雄



今年度の校友会の活動方針としては、校友会館（仮称、以下略）の建設、現役学生への支援を中心に活動していく予定です。

二〇〇四年より計画を進めてまいりました校友会館につきましては、今年十月に着工し、来年五月の竣工予定になっております。

校友会館は、地上一階地下二階建て、六八四平方メートル。一階部分には、展示室を設け、追手門学院大学の歴史に関する史料類を展示する予定です。母校を訪問された校友の皆様には、学生時代を懐かしんでいただき、現役学生の皆様にも、大学の歴史に触れていただければと考えております。

また今年度から現役学生との親睦を図るために、六月には学友会役員との親睦会を開催しました。これに先立ち、従来の卒業記念品の賞牌に替えて、卒業アルバムを卒業生に贈ることになりました。これ

2007年度 校友会総会及びホームカミング・デーのご案内

開催日 2007年10月28日(日)

【総会】午前11時～
(大学食堂棟3階)

【ホームカミング・デー】正午～
(同1階)

は、賞牌のモチーフである大学一号館が取り壊されることと、卒業アルバムが自費購入のために、購入しないから写らないと言う話を聞き、卒業記念品として贈るもので。

これを機に現役学生との交流をより一層深め、これから母校の発展に寄与することができますよう、積極的な活動を行っていきたいと考えております。

ホームカミング・デー 今年は28日に

将軍山祭のなか日に開催される総会、ホームカミング・デーは今年は十月二十八日(日)に大学食堂で開催されます。

念願の校友会館(仮称)の起工式も終つており、会館の建設を見ていただけます。今年は第一期生が還暦を迎える年で、校友にも本会にもひとつの節目の年と言えます、特に第一期生のご参加をお願いいたします。

開催日時
十月二十八日(日)
十二時～十三時三十分
開催場所
ホームカミング・デー会場(食堂棟1階に入試説明コーナーを設置)



卒業生教員対象 入試説明会のご案内

昨年に続いてアメ民OBのライブステージも計画しております。
四十年の年月を飛び越えて下さい。

ホームカミング・デー会場におきまして教育界でご活躍されている卒業生の皆様を対象に入試説明会を開催することとなりました。説明会は入試相談を兼ねた個別の説明形式で、本学の入試制度の実状および二〇〇八年度入試の概要等をお話しさせていただきます。また、貴重なご意見等もお聞かせ願えればと存じます。ホームカミング・デーへのご参加と併せて入試説明会へのご参加をよろしくお願いいたします。

経営学部長に就任して

経営学部長
福田 得夫



る予定で準備を進めており
ます。

このように、経営学部発足以来、より一層の学部教育の充実を目指して、歴代

心理学部長就任のご挨拶

心理学部長
井上 知子



の学部長をはじめとする関係者は、たゆまぬ努力を重ねてしております。校友会の皆様方の暖かいご支援をお願いします。

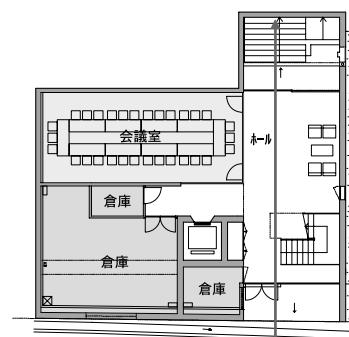
学院時代と比べると天国のような状況で、しかも女性の教員は二名（ちなみに体育の平木先生の奥様）のみでしたので、優雅に教員生活を始めました。それから三十有余年私自身も齢を重ねつつ、いろいろな大小の出来事を経験しながら、どんどん変化する本学の物理的、人的様態を見続けながら今にいたりました。過去のどの時代とも比べることができるのが今という時代に存在している現在の大学の状態であると思います。特にこの四月から学部長になつて今までとは異なる側面から大学の状態を見て思うことは、もっと本学はいい方向に変われるはずだということです。

人間学部を一九九五年に設立したときにはちょうど学部で三番目にできた「人間学部」という名称は、他の大学の人から評判の良い名前でした。一昨年まで幾年かをかけて心理学のこれからを担う教員が中心になつて構想を練り作り上げた心理学部も日本ではまだ数少ない名称です。心理学部についてのみ見るならば、前学部長の提唱したナンバーワン計画は夢ではなくて実現することができうるものであり、教員も学生も力をあわせて努力するに足りる計画であると思います。二年という年月でできることはその基礎作りをはじめるに過ぎないものであると思います。しかし、本学ではおそらく想定外であつたオシリーワンの女性学部長という特性を活かして、まずは心理学部のために、ひいては本学のためにより良い人的、物理的環境を作り、私自身が本学で人生のほとんどを送つたことを誇れるように努力したいと思つています。

校友会館（仮称）の概要図

展示室

吹き抜けのある天井高い高いコーナー（展示室1）、中庭に面した回想コーナー（展示室2）、映像コーナー（展示室3）、キャンバスを展望できるコーナー（展示室4）、情報検索のできるラウンジ等、様々なキャラクターを持つったスペースがあります。追手門学院の過去から現代、そして未来を巡ることができます。これらのコーナーは緩やかなスロープで結ばれ、ゆったりとしたスピードで展示を楽しむことができます。展示の壁の窓からは、周辺の緑も目に飛び込んできます。



敷地前の道路を歩きながらホール越しに中庭が見えます

オープンカフェ

開放感のあるオープンカフェは、開かれた校友会館のイメージを表しています。ガラススクリーンが全開し、テラス・カフェ・ラウンジが空間的に一続きになります。様々な人が集い、コミュニケーションが生まれる場所となります。

BF

会議室

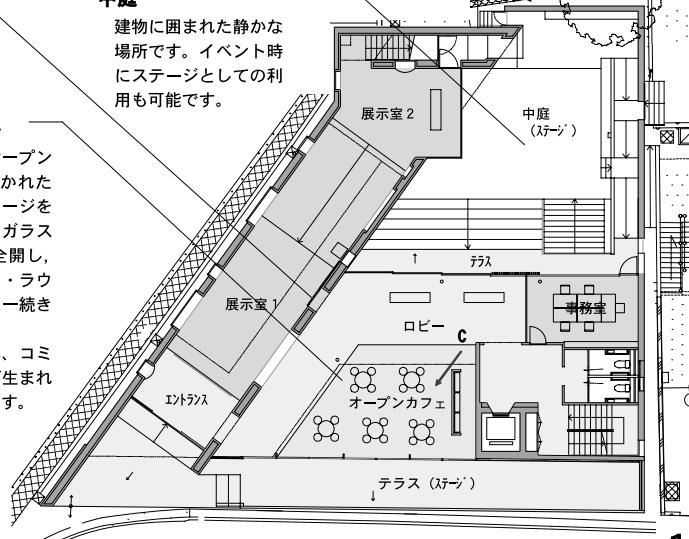
企画展示室としての利用も想定することができます。

ラウンジ

様々な情報を検索できるコーナーとしても利用できます。

中庭

建物に囲まれた静かな場所です。イベント時にステージとしての利用も可能です。

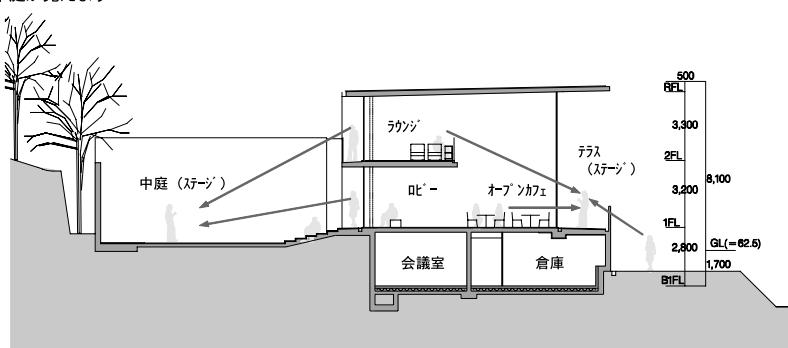


2F

1F

様々な場所で、コミュニケーションが生まれます。

X 断面図



校友会館展示室の展示品がありませ
んか？

現在、開館に向けて、史
代学長を始めとする学院の
関係者や卒業生・学生・ク
ラブ活動史等の整理なども
進めております。開館時の
展示にご期待下さい。

校友会館に大学歴史展示
室が設けられます。そこに
は大きく分けて、追手門学
院大学の開学以前と開学後
に分けて歴史を追つてそれ
ぞの時代を展示したいと
考えております。そのため
の展示品を探していますが、
まだ足りません。会員各位
のご協力を願いたしま
す。特に、体育実技の指定
ウエア、当時のノート、教
科書、ゼミの写真、クラブ
活動の写真等を探していま
す。このような物をお持ち
の方がございましたら、大
学へご寄贈又は貸し出しを
願いいたします。

○七二一六四三一六一三五
連絡先 校友会事務局

活躍する校友(3)

アップリカ葛西(株)代表取締役社長

葛西 得男 (第四期生・経済)



同窓の集い

心理学科

今年度もホームカミング・デーに合わせて心理学科卒業生の集いを開催します。

参加希望の人は十月十五日までにメールタイトルを

同窓会参加として次のアドレスへ連絡ください。

同学年でお誘い合わせて多数ご参加下さいますようお願いします。

toinoue@haruka.otemon.ac.jp

* * *

「人は信頼できる」ということを学ぶことができます。

昨今の悪質な少年事件の中でも三歳までの育児の重要性をとても痛感しています。三歳までの時期に子どもの「あたたかい心」を育て、周囲の人々の「あたたかい心」に触ることによって、子供の土台の部分が育ちます。「あたたかい心」とは何か?私自身、この答えは他人に対する思いやりの心なのではないかと思っています。私たち人間には他人の気持ちを理解する能力があります。心理学ではこの

校友会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。追手門学院が二〇〇八年に創立二二〇周年を迎えられますことを卒業生として心よりお祝い申し上げると共に、また、こうして会報に寄稿できますことを感謝申し上げます。

私は育児製品を開発・製造する会社を経営しておりますが、育児研究を重ねる

中で三歳までの育児の重要性をとても痛感しています。

三歳までの時期に子どもの

「あたたかい心」を育て、

周囲の人々の「あたたかい

心」に触ることによつて、

子供の土台の部分が育ちま

す。「あたたかい心」とは

何か?私自身、この答えは

他人に対する思いやりの心

なのではないかと思つています。私たち人間には他人の気持ちを理解する能力があります。心理学ではこの

社会学科

社会学科卒業生のみなさん、今年もホームカミング・デーの日に同窓会ソキウスの第二回総会・懇親会を開催します。

母校も中央棟と六号館が

本年三月から供用され、あの一号館も建替え工事中、校友会館も建設に入っています。

新しいキャンパスをご覧頂くとともに、旧交を温め

〈昨年の様子〉



心理学科



社会学科

合うため、お誘い合わせの上お集まりください。
今年も卒論を返却しますので、昨年受け取られていない卒業生は今年がラストチャンスです。ぜひお受け取りください。

杉本先生にもご参加頂きます。
開催日時 2007年10月28日(日) 13:30頃より(ホーリンゲン・デー終了後)
開催場所 大学食堂3F スタッフルーム
会費 ¥2,000
連絡先 shinno@res.otemon.ac.jp (ご参加頂ける方はご連絡ください)
※ ソキウスブログに卒論返却予定分の掲載しますので、ご希望の方は、
ブログコメントでお知らせください。
http://space.geocities.yahoo.co.jp/g1/socius_ogu2006

社会学部支援同窓会ソキウス会長 新野三四子

文学部社会学科・人間学部社会学科卒業生の皆様へ ～第2回 社会学部支援同窓会ソキウス総会のおしらせ～

開催日時 2007年10月28日(日) 13:30頃より(ホーリンゲン・デー終了後)
開催場所 大学食堂3F スタッフルーム
会費 ¥2,000
連絡先 shinno@res.otemon.ac.jp (ご参加頂ける方はご連絡ください)

※ ソキウスブログに卒論返却予定分の掲載しますので、ご希望の方は、
ブログコメントでお知らせください。
http://space.geocities.yahoo.co.jp/g1/socius_ogu2006

恩師を訪ねて(3)

「書難」避け難し

名譽教授

宇宙正



義や演習を通して学生に伝えるのに日々苦労を重ねた

かな書難を招くこともあつた。

義や演習を通して学生に伝えるのに日々苦労を重ねたものだった。しかしこれは自分が進んで選んだ天職なので、専門文献の読解に苦しみつつも書難とは感じなかつた。

後年、学内経理システムの改正で、それまでは備品として研究費で購入していく書物がすべて消耗品とし

文学部心理学科・人間学部心理学科卒業生の皆様へ ～第2回 心理学科卒業生の集いのおしらせ～

開催日時 2007年10月28日(日) 14:00~15:30を予定

開催場所 2305教室（参加者の人数によって変更すること）

連絡先 toinoue@haruka.otemon.ac.jp

※ 参加予定者は、10月15日までに、
メールのタイトルを同窓会参加とし、氏名（旧姓）、卒業年度、
ゼミ名をご連絡ください。

心理学部心理学科 井上 知子

人の一生にはいろいろな災難がふりかかるものだ。火難・水難・剣難・女難・盜難等々実にさまざまあるが、私の一生の内では「書難」というものが、折にふれ立ちはだかり、しばしば私を悩ませるのである。

本学の開学以来の最古参考員として実際に四〇年間勤め上げ、昨年春に退職した私であるが、本当は開学に先立つ設立準備段階から「特命で」大手前の学院本部に一年近く通つて実務的なお手伝いをしたので、気持の上では四〇年以上在職したという感慨がある。

その時、私がもっぱら担当したのは、大学設置認可要件を満たす作業の一環として付属図書館における経済学関係の専門図書の選定・蒐書——要するに図書館創設の最前線の仕事だった。生来の本好きとはいえた。元々文学部出身で経済学に

さて、無事開学した本学での私の担当課目は「経済史」であり、文字通り人間社会における経済活動の発足からその論理的展開を「史」つまり言葉で考え文章を組み立てるため、多くの書物をひもとき、まさぐり、さらにみずから書物にまとめ上げる努力を、講

は疎遠であつた私としては、経済学の専門文献の選定や体系的な蒐書にしばしば戸惑い、心労も多かつたが、とりあえず経済学史の泥縄的学習をしてどうにかとりつくろい、いよいよ文部省から派遣された大学設置審議会委員の実地検分という難関に臨んだ。そして、委員の服部英太郎博士からの「経済理論部門でローザンヌ学派の書目を補強するよう」とのコメント付きながらどうにかパスしたものの、まさにわが人生最初の書難であつた。

問題は、そうした私の認識とは別に、私が日々、知的好奇心の赴くままに手当たりしだい研究費や私費で購い集めた「物」としての書物が、自分の日常的身辺とくに大学の研究室をひしょりと埋め始めたのである。時たま、訪ねてくる来客や学生は室内にそそり立つ書棚を仰いで、「この本、みな読んだのですか?」と素朴に驚いてくれるのだが、私のようなアナログ型思考の研究者は、一生に一度でも特定の一行、いや一語の意味を探るだけの目的で、ぶ厚い書物を数多く、つねに座右、机辺に配備しているのだ。

役職嫌いの私もさすがに図書館長だけは嬉しくお引き受けして、時々書庫の奥を徘徊したものだが、いつも電動式書架のボタン操作をしつづり、みずからささや

書物フエチの私には「垣音」と思われた。ところがやがて定年退職の日を目前にして、研究室に山積する消耗図書をすべて自分で処理せねばならなくなり、私はように書物の廃棄をいきぎよしとしない場合はみづから抱え込み引き取ることを迫られるという次第で、ここで第二の書難に見舞われたのである。

私は一世一代の熟慮のすえ、愛すべき私の知的分身である書物二千冊余を出島寄贈し、百冊余は学内・外の知人に譲り受けてもらひ、あとは自家の蔵書に移したが、その整理・梱包・宅送に入室取り、結局研究室から退去が退職の翌日つづり新学年度にずれ込み、次に入室される新任の先生へ管財課の職員にご迷惑をかけてしまつた。

それから一年、私もそろ
そろ「終の栖」に引越しすこ
とになり、新居はこれまで
より少々狭くなるため、ま
たぞろ蔵書の選別・整理を
迫られ、目下この月末を期
限に第三の書難が蕭々と進
行中であるが、さて第四の
書難は？

校友会館の 覚書調印



六月二十一日、追手門学院大学校友会館（仮称）に係る覚書調印式が行われました。

覚書は校友会館（同）の寄附・建設・竣工時の維持管理に係る覚書で、大学からは鈴木学長、胸永法人事務局長、校友会からは平野会長、大橋副会長、蟻柴副会長が出席し、なごやかなうちに覚書に調印し、覚書が締結されました。

予定地のボイラー室は取り壊しが始められており、九月二十九日に起工式を執り行う予定になつていています。

大学からは鈴木学長、代学生部長、胸永法人事務局長が参加された。



学友会と親睦会

六月三十日、大学食堂において現役学友会との親睦会を開催しました。

かねてより現役に支援をと機会を練つていたのが実現したもので、学友会本部員の皆様方には、平素より本院・本大学に対しご支援、ご協力を頂き、厚くお礼申

追手門学院創立 一二〇周年記念事業 「総合募金」のお願い

学問の神様、天満宮の祭りに今年も、追手門学院が奉拝船を出した。校友会も平野会長らが乗船し、学院をPRした。

今年も奉拝船

し上げます。

追手門学院は来年二〇〇八年に、創立一二〇周年を迎える。学院挙げて記念事業を推進し、これを契機として更なる発展を目指しております。

大学におきましては、この

三月に地下二階・地上十一階の中央棟、四つの大中教室の六号館が竣工し、これら施設は教育環境の充実におおいに資するものでござります。また学生サービス部門を集中した新・一号館の建設も今秋には始まる予

定となつております。

これら記念事業につきまして、校友会会員の皆様方に募金のご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

追手門学院常務理事
中嶋昌彌

編集後記

一期生が還暦!!十年ひと昔と言うと、四昔。科学技術は警異的に進歩したが、見渡せば当時のファッショングが流行している。この四昔、早いとみるか遅いとみるか。

(潤)

追手門学院創立120周年記念 追手門学院大学 経済学部 《秋季公開講座》 「少子化とヒューマンエコノミー」

追手門学院大学経済学部では、多くの人々が関心を寄せる「少子化問題」をテーマとして、3回連続の公開講座を開催します。少子化問題の背景から現代を読み解き、私たちの未来への課題を探ります。事前の申し込みは不要です。関心のある方なら、どなたでも参加自由です。

第1回 10月6日（土）

関西大学政策創造学部 白石 真澄 教授
演題「少子高齢化と地域システム」

第2回 10月13日（土）

神戸大学大学院経済学研究科 小塩 隆士 教授
演題「少子化対策の意義と課題」

第3回 10月20日（土）

追手門学院大学経済学部 村田 美希 講師
演題「少子・人口減少社会を考える」

【時間】13:30～15:00

【場所】追手門学院大学 6号館（優駿ホール）

【問合わせ】追手門学院大学経済学部

「秋季公開講座」係

TEL. 072-641-9616

FAX. 072-643-9432